



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 ダイコク電機株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 6430 URL <https://www.daikoku.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栢森 雅勝
問合せ先責任者(役職名) 代表取締役専務 (氏名) 大成 俊文 (TEL) 052-581-7111
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	15,965	174.4	4,837	—	4,855	—	3,369	—
2023年3月期第1四半期	5,818	8.5	227	△39.4	306	△23.0	191	△27.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,369百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 191百万円(△27.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	227.91	—
2023年3月期第1四半期	12.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	52,826	35,882	67.9
2023年3月期	48,298	33,399	69.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 35,882百万円 2023年3月期 33,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	60.00	70.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	20.00	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	19.4	4,200	4.5	4,350	2.1	3,000	2.5	202.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	14,783,900株	2023年3月期	14,783,900株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,138株	2023年3月期	995株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	14,782,802株	2023年3月期1Q	14,782,982株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復の動きがみられました。しかしながら、世界的な金融引締め等が続く中で海外景気の下振れや、物価高騰による影響が今後も懸念されております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、昨年11月よりスマートパチスロ、今年4月よりスマートパチンコの導入が始まり、遊技機の稼動状況は、2023年4月～6月の期間平均で前年同期比106.1%となりました。種別稼動状況につきましては、パチンコ機が前連結会計年度では稼動をけん引してきましたが、2023年4月～6月の期間平均では前年同期比93.6%と一転して厳しい状況となりました。一方、パチスロ機は昨年からのパチスロ6.5号機やスマートパチスロの導入により稼動の回復基調が鮮明になっており、前年同期比132.5%と大幅に上昇しました(当社「DK-S I S」データ参照)。

当第1四半期末時点でのスマート遊技機の導入状況につきましては、スマートパチスロは累計10機種が導入され、パチスロ機全体におけるスマートパチスロの設置割合は17.1%となっております。スマートパチンコでは累計3機種が導入され、パチンコ機全体におけるスマートパチンコの設置割合は1.6%となっております(当社「DK-S I S」データ参照)。

今後もスマート遊技機に対応するための設備投資は活発化し、当面は回復基調が鮮明なパチスロ関連の設備投資が中心となって推移する見込みです。

このような市場環境のもと、情報システム事業におきましては、スマート遊技機登場による活発な設備投資需要に応えるため、スマート遊技機専用カードユニットや情報公開端末の拡販、スマート遊技機のデータ管理に最適なAIホールコンピュータ「X(カイ)」へのシステムアップによる入替促進を提案しました。

また、スマート遊技機登場による市場変化への対応に関連したMIRAI GATEサービスの提案や、同サービスのさらなる拡大を目指し、煩雑な機種入替時の作業が短時間で完了し業務効率化に貢献する「楽しく入替運用オプション」、クラウドチェーン店舗管理システム「Clar i s L i n k」、周辺エリアの集客状況を提供する商圏分析サービス「M a r k e t - S I S」の普及を促進しました。

アミューズメント事業におきましては、今後のスマートパチスロ事業参入に向けて、パチスロの開発を行うライリィ社を2023年4月より孫会社化し、既存のパチンコ機に加え、パチスロ機のソフト開発体制の強化を行いました。また、グループ会社とのさらなる連携強化とともに、生産部門と組織統合することで、企画開発から製造まで一貫した事業体制の強化をはかりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高159億65百万円(前年同期比174.4%増)、営業利益48億37百万円(前年同期は営業利益2億27百万円)、経常利益48億55百万円(前年同期は経常利益3億6百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益33億69百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億91百万円)となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。なお、従来「制御システム事業」としていた報告セグメントの名称を「アミューズメント事業」に変更しております。

(情報システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、スマート遊技機導入によるパチンコホール経営企業の活発な設備投資需要に対し、最大限に応えられるよう対応してまいりました。

このような市場環境のもと、『パチンコホール向け製品等』の売上は、スマート遊技機専用を含む当社カードユニット「VEGAS I A」、情報公開端末「REVOLA」、「B i G M O P R E M I U M」の販売台数が好調に推移した結果、前年同期を大幅に上回りました。『サービス』の売上は、主要なサービスが堅調に推移し、スマート遊技機登場による市場変化への対応に関連したMIRAI GATEサービスの加盟店舗数が増加したこともあり、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は149億13百万円(前年同期比255.1%増)、セグメント利益は53億5百万円(同748.2%増)となりました。

(アミューズメント事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、パチンコ機向けの表示ユニット及び制御ユニット販売、部品販売ともに、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は10億52百万円（前年同期比35.1%減）、セグメント損失は34百万円（前年同期はセグメント損失32百万円）となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率(%)
売上高	5,818	15,965	10,146	174.4
情報システム事業	4,200	14,913	10,713	255.1
アミューズメント事業	1,620	1,052	△568	△35.1
営業利益	227	4,837	4,609	—
経常利益	306	4,855	4,548	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	191	3,369	3,177	—

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、減価償却費の計上などにより固定資産は減少しましたが、当第1四半期連結会計期間の業績が好調に推移したことにより、営業債権が増加しております。また、スマート遊技機導入に伴うパチンコホール経営企業の活発な設備投資需要に対応するべく調達につとめた結果として、製品が増加しており、前連結会計年度末に比べて45億27百万円増加の528億26百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、製品仕入の増加に伴い営業債務が増加しております。また、所得の増加に伴い未払法人税等も増加したことにより、前連結会計年度末に比べ20億44百万円増加の169億43百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ24億82百万円増加の358億82百万円となりました。自己資本比率は、67.9%（前連結会計年度末比1.3ポイント下降）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、各利益は2023年5月15日に発表した通期の連結業績予想を上回っている状況です。今後もスマート遊技機に対応するためのパチンコホールでの設備投資は活発化すると予測しておりますが、現時点では下期の遊技機販売動向が未確定のため、通期の連結業績予想は据え置きのままにしております。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結累計期間実績	2024年3月期 通期連結業績予想
売上	15,965	38,000
営業利益	4,837	4,200
経常利益	4,855	4,350
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	3,369	3,000

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,922,801	19,505,064
受取手形、売掛金及び契約資産	4,966,114	5,140,707
電子記録債権	2,108,910	3,330,396
有価証券	500,066	500,000
商品及び製品	7,957,700	8,667,243
仕掛品	89,324	46,021
原材料及び貯蔵品	482,237	552,658
その他	884,363	802,244
貸倒引当金	△284,780	△351,412
流動資産合計	33,626,738	38,192,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,205,453	3,156,176
土地	4,162,117	4,162,117
その他（純額）	857,180	774,871
有形固定資産合計	8,224,751	8,093,165
無形固定資産		
ソフトウェア	2,044,262	1,898,260
のれん	812,206	842,580
その他	33,045	32,925
無形固定資産合計	2,889,514	2,773,767
投資その他の資産		
繰延税金資産	615,976	706,966
投資不動産（純額）	865,079	860,857
その他	2,282,207	2,406,689
貸倒引当金	△205,485	△208,067
投資その他の資産合計	3,557,777	3,766,446
固定資産合計	14,672,042	14,633,378
資産合計	48,298,781	52,826,302

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,193,557	4,454,629
電子記録債務	3,765,603	5,266,379
短期借入金	2,000,000	2,000,000
未払法人税等	1,203,429	1,633,947
製品保証引当金	40,325	41,024
役員賞与引当金	75,050	11,370
その他	2,688,049	2,547,542
流動負債合計	13,966,016	15,954,893
固定負債		
役員退職慰労引当金	453,473	458,503
退職給付に係る負債	232,626	284,706
その他	246,785	245,730
固定負債合計	932,886	988,941
負債合計	14,898,902	16,943,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	31,924,756	34,406,894
自己株式	△1,897	△2,323
株主資本合計	33,276,867	35,758,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,872	17,656
退職給付に係る調整累計額	106,139	106,232
その他の包括利益累計額合計	123,011	123,888
純資産合計	33,399,879	35,882,468
負債純資産合計	48,298,781	52,826,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,818,991	15,965,169
売上原価	3,385,469	8,561,632
売上総利益	2,433,522	7,403,537
販売費及び一般管理費	2,205,746	2,566,465
営業利益	227,775	4,837,072
営業外収益		
受取利息	3,988	4,029
受取配当金	7,236	6,112
不動産賃貸料	22,272	21,355
雇用調整助成金	53,136	—
その他	9,720	9,057
営業外収益合計	96,354	40,555
営業外費用		
支払利息	1,658	1,634
為替差損	3,705	9,070
不動産賃貸費用	11,475	11,129
その他	416	165
営業外費用合計	17,256	21,999
経常利益	306,873	4,855,628
特別損失		
固定資産除却損	112	335
減損損失	2,500	—
特別損失合計	2,612	335
税金等調整前四半期純利益	304,260	4,855,292
法人税、住民税及び事業税	105,948	1,577,557
法人税等調整額	6,860	△91,376
法人税等合計	112,808	1,486,180
四半期純利益	191,452	3,369,112
親会社株主に帰属する四半期純利益	191,452	3,369,112

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	191,452	3,369,112
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	734	783
退職給付に係る調整額	△205	93
その他の包括利益合計	529	877
四半期包括利益	191,981	3,369,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,981	3,369,989

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム 事業	アミューズメント 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,200,090	1,618,901	5,818,991	—	5,818,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,587	1,587	△1,587	—
計	4,200,090	1,620,488	5,820,579	△1,587	5,818,991
セグメント利益又は損失(△)	625,459	△32,887	592,572	△364,796	227,775

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△364,796千円には、セグメント間取引消去△157千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△364,639千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「アミューズメント事業」セグメントにおいて、連結子会社の有する事業用資産について、今後のキャッシュ・フローの回収可能性を鑑みて、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、2,500千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム 事業	アミューズメント 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,913,921	1,051,248	15,965,169	—	15,965,169
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	897	897	△897	—
計	14,913,921	1,052,146	15,966,067	△897	15,965,169
セグメント利益又は損失(△)	5,305,245	△34,871	5,270,374	△433,302	4,837,072

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△433,302千円には、セグメント間取引消去3,547千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△436,849千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、従来「制御システム事業」としていた報告セグメントの名称を「アミューズメント事業」に変更しております。なお、当該変更は報告セグメントの名称変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

また、これに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報も変更後の名称で表示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	情報システム事業	アミューズメント事業	
パチンコホール向け製品等	2,604,095	—	2,604,095
サービス	1,595,994	—	1,595,994
遊技機メーカー向け表示・制御ユニット	—	407,302	407,302
部品・その他	—	1,211,598	1,211,598
顧客との契約から生じる収益	4,200,090	1,618,901	5,818,991
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,200,090	1,618,901	5,818,991

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	情報システム事業	アミューズメント事業	
パチンコホール向け製品等	13,275,788	—	13,275,788
サービス	1,638,132	—	1,638,132
遊技機メーカー向け表示・制御ユニット	—	305,623	305,623
部品・その他	—	745,625	745,625
顧客との契約から生じる収益	14,913,921	1,051,248	15,965,169
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	14,913,921	1,051,248	15,965,169